

ダイアボンド DA737W
(木工用中粘度・瞬間接着剤)

ダイアボンドDA737Wは α -シアノアクリレート系接着剤で、広範な材料に接着可能な無溶剤の一液形化学反応性接着剤です。

§ 特長

1. 木材、皮革などの多孔質のものに接着に適しています。
2. 短時間で強力に接着します。
3. 金属、ゴム、プラスチックなどの接着も可能です。

§ 用途

1. 木材、皮革、金属、ゴム、プラスチックなどの同種または異種の接着
2. 各種部品の仮止め接着

☆被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

| | |
|-------------------|--------------|
| 主 成 分 | エチルシアノアクリレート |
| 外 観 | 淡黄色透明 |
| 反 応 分 (%) | 100 |
| 粘 度 (mPa·s) at20℃ | 900 ~ 1100 |
| 保 証 期 間 (月) at 5℃ | 12 |
| 引 火 点 (℃) | 80 |

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。接着面は、密着できるよう、平滑にします。
2. 接 着 片面に少量接着剤を滴下し、素早く他の接着面とあわせ、指または手で押えます。

§ セットタイム（接着後、0.5 MPa の力で引張っても被着材が動かなくなるまでの時間）

| 被着材 | セットタイム (秒) |
|-------------|------------|
| クロロプレンゴム | 10 ~ 15 |
| スチレンブタジエンゴム | 10 ~ 15 |
| ニトリルゴム | 10 ~ 15 |
| ABS樹脂 | 10 ~ 15 |
| 硬質塩化ビニル樹脂 | 10 ~ 15 |
| アクリル樹脂 | 10 ~ 30 |
| 鋼板 | 10 ~ 30 |
| ステンレス鋼板 | 10 ~ 30 |
| ラワン合板 | 20 ~ 30 |

§ 接着強さ

引張りせん断接着強さ (MPa)

| 被着材 | 常態 | 48 時間後 |
|-------------|----|--------|
| クロロプレンゴム | | 4 * |
| スチレンブタジエンゴム | | 5 * |
| ニトリルゴム | | 6 * |
| ABS樹脂 | | 6 * |
| 硬質塩化ビニル樹脂 | | 7 * |
| アクリル樹脂 | | 9* |
| 鋼板 | 20 | |
| ステンレス鋼板 | 16 | |
| ラワン合板 | | 8 * |

* : 材質破壊

試験方法 : JIS K 6850 及び 6851 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 接着剤は塗布量が多過ぎると接着速度が遅くなる上に、所定の接着力が得られなくなります。
- ・ 容器に穴を開ける時は、ノズル先端を顔に向けないようにして下さい。
- ・ 作業に当たっては、目に入らないように保護メガネなどを着用して下さい。
- ・ この接着剤は皮膚を瞬間に接着するため、皮膚につけないよう十分に注意して下さい。
- ・ あやまって指などを接着したときは、お湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすか、瞬間接着剤はがし液を使用して下さい。
- ・ 万一眼に入った時は、すぐに大量の水で洗眼し、必ず医師の手当を受けて下さい。無理にはがそうとしたり、目をこすったりは絶対しないで下さい。
- ・ 取扱い作業中には換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。

- ・ 布、皮などの手袋や着衣などに多量に浸み込んだ場合、急激に発熱して火傷することがありますので注意して下さい。
- ・ 使用後は、必ず密栓して直射日光の当たらない場所に、湿気ならびに塩基性物質（硬化促進剤、アミンなど）を避けて保管して下さい。また、長期保管される時は冷蔵庫（5℃）で保管して下さい。
- ・ 廃棄するときは、容器を密封して、産業廃棄物（燃えないごみ）として処理して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第三石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅲ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。